

## ◎BLACK LAGOON3

2015年3月以来、約3年ぶりとなるシリーズ3作目です。  
5.9号機となった本機は、前作までのゲーム性を継承しつつ、  
通常時の前兆・高確を示唆する「スカルシステム」など、  
新たな要素も加え、ファンも納得の仕上がりといえるでしょう。  
個人的にも好きなシリーズだけに、期待しています。

5.9号機で1セット50G+αのARTを搭載したA+ART機。CZは、「ロベルタ」や「銀次」ら、  
おなじみの敵キャラに加え、ART期待度が高い「ロットン」を新たに追加しています。



©2006,2010 広江礼威・小学館 / BLACK LAGOON 製作委員会  
©NANASHOW

# 「バレ満」でダブル上乘せ!

本機は、A+ART（ボーナス込みで純増約1.9枚/G）機で、コイン単価は約3.1円。ベースは50枚あたり、約34G。ボーナス確率はBBが1/485～284、RBが全設定共通で1/551。ART初当たり確率は1/599～1/541、出玉率は97.4～112.3%となっています。

### ■通常時+チャンスゾーン（CZ）

通常時は、これまでのシリーズと同様に、CZとボーナスの二つのルートを中心に、ARTを目指します。

通常時の新要素として、前兆・高確を示唆する「スカルシステム」を搭載。液晶下部に表示される「ドクロ保留」の色などで、CZやART当選の期待度を表すステージです。連続演出に発展後、成功すると、ボーナス、ART、後述のCZのいずれかが確定します。

CZ「ギャングスタバトル」（15G+α）は、おなじみの「バレットバトル」を踏襲。CZ突入時やART中に獲得できるバレット（弾丸）の数だけ、6択のベルをナビし、ベルやレア役で攻撃。対戦相手を倒せば、ART突入となります。

なお、有利区間中は、筐体右下の星形のランプが点灯します。

### ■ボーナス

本機のボーナスは、2種類のBB（スーパービッグボーナス・純増約256

枚、ノーマルビッグボーナス・同152枚）とRB（同56枚）の3種類です。

BB中は、ARTのチャンスとなる「DEAD or ALIVE」を抽選。当選時は、BB終了後1G目に演出に入り、小役当選でARTが確定。ART突入期待度は約50%です。

RB中は、ベル以外の小役が成立すると液晶上に「！」が表示され、6回出現すると、ARTが確定します。

また、「スカルシステム」発動中のボーナスは、BB当選で「DEAD or ALIVE」、RBでCZ突入確定という、恩恵があります。

### ■ART「ギャングスタパラダイス」

ARTは、1セット50G+αのゲーム数上乘せタイプ。レア役でバレット獲得とゲーム数上乘せを抽選するなど、前作までのARTの流れを継承した作りとなっています。

前々作は5個、前作は10個のバレットを貯めると到達した、「バレ満」状態ですが、本機は、8個獲得すると「バレ満」に。「バレ満」後は、バレット抽選分がゲーム数上乘せ抽選へと変更され、2回分の上乘せ抽選を受けられる、ダブル上乘せ状態となります。

さらに、今作は、「バレ満」時の高確ステージでの押し順ベルでも上乘せを抽選します。

また、ゲーム数上乘せ特化ゾーン「ヘブンズラッシュ」もSTタイプに進化。黒BAR図柄を狙うカットインが3回連続で外れるまで継続。ループ率は約80%です。

有利区間1500G完走時は、エンディングが発生し、ARTは終了。エンディング到達時の期待獲得枚数は、2500枚以上です。

久しぶりの登場となったシリーズの最新作。ARTの初当たりが、全設定共通で重いため、出玉のかたまりを体感できないまま、あきらめてしまう人も多く出てくるのが懸念されます。

5.9号機に慣れさせるためという意味で、設定を甘めにし、ボーナスでART間のストレスを軽減するという運用もアリでしょう。

### PROFILE

糸柳達成 (いとやなぎ たつなり)

株式会社アテイン 代表取締役

関東老舗ホールで店長として新規・リニューアル含めて6店舗を経験。その後経営コンサルタントとして独立して10年。業界歴は27年以上。現在は、経営コンサルタントのほかにも、TV出演、コラム執筆、セミナー、集客企画などマルチな活動を行う。TwitterなどのSNSやニコ生などのウェブを使った動画配信による情報発信も（詳しくはitoyanagi.net参照）。